

広報させぼ 情報カレンダー 04. 7月



日	月	火	水	木	金	土
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13~15時、佐世保商工会議所)				1	2	3 動物舎探検隊 (17日、31日)
毎月第2金曜 発明相談 (10時~15時30分、市役所商工労働課)						
4 市少年の主張大会	5	6	7 中小企業金融公庫出張相談	8	9 発明相談	10 佐世保っ子育成パレード 交通安全県民運動~19日
11 は虫類学習会	12	13	14	15 日中美術交流展~19日	16	17 九十九島サマーキャンペーンと金魚展~9月20日 社会を明るくする運動・弁論大会
18	19 海の日 海の日イベント	20 出前保育「みんなよっといでー!」 (8月4日も)	21 市幼児教育センターの親子クッキング 市立総合病院の健康教室	22	23 育児講座	24
25 100年の森・育樹祭 こけ巻き作り講習会	26	27 おもしろエコ塾 (8月4日、10日も)	28	29 佐世保養護学校で学校公開	30 九十九島キッズクラブ~31日	31
8月の主な行事予定				8/ 5 市亜熱帯動植物園のサマースクール~6日		
8/ 1 親子deクッキング、佐世保バーガーフェスティバル、親子ハープ石けん作り講習会				8/ 6 人権啓発講演会		
8/ 3 大村湾フローティングスクール、「ハンナのかばん」パネル展~9日(講演会は7日)				8/ 7 食育のあり方を考える子育て講演会 8/ 8 食虫植物展示会~22日		

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999

エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分~20時30分には、夜間相談も受け付けます)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

7月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 脱水症 **火** 脊髄腫瘍と下肢の麻痺
水 学習障害児について **木** とびひ
金 間食と虫歯
土、日 若者に多い性感染症

人のうごき (6月1日現在)

総人口 239,543人 (+52)
男 112,858人 (+51)
女 126,685人 (+1)
世帯数 94,046世帯(+139)

5月中のうごき

転入 666 **転出** 632
出生 182 **死亡** 164

見て、聞かせば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

大久保小学校の事件を悼む

去る6月1日に大久保小学校で起きた児童殺傷事件で、被害に遭われたご遺族に対して衷心より哀悼の意を表しますとともに、亡くなられた御手洗怜美さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

市長に就任して以来、私もさまざまな事件を経験しましたが、この事件ほど衝撃的なものは初めてでした。数日の間、胃に鉛を飲み込んだという表現通りの重苦しい気分で過ごしました。

本市では、平成13年から1年半にわたり「佐世保市の教育を考える市民会議」で今後のあるべき教育を家庭、学校、地域社会という角度から論議していただきました。昨年2月にはその内容を33項目にまとめて提言があり、現在具体的な施策として取り組んでいます。例えば、2学期制導入、少人数学級支援事業などは、より余裕ある学校運営を目指すものです。

しかし一方で、今回のような痛ましい事件に出会うとあらためて教育の難しさを考えざるを得ません。

文部科学省および県教育委員会においても、今回の事件を受け「命を大切に教育」「学校で安心して学習できる環境づくり」「情報社会の中でのモラルやマナーについての指導のあり方」など、すべての教育課程の見直しを検討していくことも視野に入れているようです。

佐世保市としましても、御手洗怜美さんの死を無にしないよう、本市の教育改革にしっかりと取り組んでまいります。

佐世保市長 **光武 顕**

歴史散歩

れきしさんぽ
468

永徳延命地藏尊 (指方町)

針尾バイパスと国道202号が交わる指方交差点にレンタカー会社の駐車場があります。その一角に古びた木造の地藏堂があり、風変わりな地藏尊が安置されています。高さ1メートルほどの砂岩で、上に緑泥片岩の五輪の塔の空風輪が乗せられ、そばに着色が少しあせた弘法大師像が寄り添っています。

砂岩の正面に「永徳延命地藏尊」と達筆な文字で彫られ、そのていねいな刻字と「永徳」の年号が格別の興味を引きまます。永徳は南北朝時代の北朝の年号で西暦1381~84年に当たり、鎌倉幕府が滅んでから約50年たったところです。北朝の初代征夷大将軍・足利尊氏の孫で第三代将軍義満が、京・室町に「花の御所」を開いて茶道、華道、能楽が盛んに



催される室町文化が最盛期を迎えた時代です。南北朝時代には、博多を拠点に遣明貿易が行われ、一方では東シナ海で倭寇が暴れまわるなど、九州が大きな役割を果たしました。佐世保市域では、宮に宇都宮弥三郎通綱が地頭となって下向してきました。

お地藏さん信仰は足利尊氏がとても熱心で、自分の護り本尊として常に持ち歩き、鎌倉浄妙寺など各地に安置し、やがて庶民層にも急速に広まっていったのです。指方の自然石地藏は、石仏が普及する前の姿を思わせ、五輪の空風輪は1世紀ほど後に盛行する武士の供養塔の一部で、後世土地の人が粗末にしないようにと補ったのでしよう。近くに住む鮎川正さん(79歳)

は「昔この付近は畑地で、ひっそりとして訪れる人も少なかった」と話されました。(筒井隆義)



2004.7 おわびと訂正 6月号特集ページの中で「除漣さん」とあるのは「徐漣さん」の誤りでした。広報係からおわびして訂正します。